

令和9年度 静岡県公立学校【特別支援学校】教員採用選考試験要項

令和8年1月 静岡県教育委員会

令和9年度静岡県公立学校【特別支援学校】教員を希望する者について、採用選考試験を以下のように実施する。

I 選考試験を行う教員種別及び教科等

| 教員種別 | 教科等 | 採用見込数 | |
|----------|---|---|-------|
| | | 正規 | 任期付 |
| 特別支援学校教員 | 小学部（幼稚部教員を含む） 中学部（高等部教員を含む）…国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、英語、技術、家庭 自立活動（特別選考：専門職経験を有する者を対象とした選考） | 90人程度 （全体） 「しずおか未来創造枠」（小学部）の合格者15人程度を含む | 20人程度 |
| | 中学部（高等部教員を含む）数学、理科、技術、家庭を対象に一般選考とは別に選考を実施 | 各5人程度 | |
| 障害者特別選考 | 全ての教員種及び教科を対象に、一般選考とは別に選考実施 | 若干名（全校種） 各教員種別の合格者数を含む | |

※ 募集案内P.3「教員種別」のいずれか一つの教員種別・教科等についてのみ受験できる。（併願はできない。）

※ 採用見込数は、現時点における一応の目安であり、変更することがある。

※ 中学部数学、理科、技術、家庭の採用見込数は目安であり、一定の資質・能力・適性を有していると認められる者は、採用見込数にとらわれずに採用する。

なお、この採用見込数は全体数に含まれる。

※ 所有する免許状によっては、小学部で採用されても中学部配置になる等、採用学部と配置学部が異なる場合がある。

「しずおか未来創造枠（自己推薦枠）」（小学部）とは
静岡県に愛着があり、未来を担う児童生徒等の育成に対する熱意と、ビジョンを具現化していく力量を持った者を対象に行う選考のこと。試験内容は、特別支援学校教員（小学部）受験者と同様の選考試験を行う。自己推薦用紙の提出が必要となる。
一般選考及び特別選考との併願が可能。「大学院修士課程の特例」を希望する場合、「しずおか未来創造枠」への出願は不可。

II 受験資格

- 下表の学部・教科等に応じた「必要とする免許状・資格等」を有する者又は、令和9年4月1日までに取得見込の者（取得見込者の受験は小学部、中学部のみ）

| 学部・教科等 | 必要とする免許状・資格等 |
|--------|--|
| 小学部 | 小学校教諭普通免許状及び特別支援学校教諭普通免許状（＊） |
| 中学部 | 上記Iに掲げる教科の中学校教諭普通免許状及び特別支援学校教諭普通免許状（＊） |
| 自立活動 | 看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の資格を有し、各資格に基づく勤務経験が令和8年3月31日までに3年以上ある者（見込み含む） |

※ 令和8年3月31日現在において、特別支援学校での実務経験（実際に勤務した期間をさす。休業、休職期間は含まない）が3年以上（臨時的任用職員及び任期付職員を含む）見込まれる者については、特別支援学校教諭普通免許状の所有又は、令和9年4月1日までに取得見込みであることを必須とする。ただし、領域（視覚・聴覚・知的・肢体不自由・病弱）及び専修・1種・2種の別は問わない。実務経験3年未満の者については、採用後3年以内に特別支援学校教諭普通免許状又は、免許状申請可能な単位を取得するものとする。

- 昭和40年4月2日以降に生まれた者

- 3 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条等に規定する以下の欠格条項に該当しない者
- (1) 拘禁刑以上の刑に処せられた者又は刑の執行中の者
 - ・拘禁刑以上の刑に付された執行猶予の期間
 - ・拘禁刑以上の刑の執行を終わり又はその執行の免除を得たときから、罰金以上の刑に処せられることなく10年を経過するまでの間
 - (2) 教育職員免許法第10条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者
 - (3) 教育職員免許法第11条第1項から第3項までの規定により免許状取上げの処分を受け、3年を経過しない者
 - (4) 静岡県において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - (5) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- 4 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告（心神耗弱を原因とするもの以外）を受けていない者
- ※ 日本国籍を有しない者は、任用期限を付さない常勤講師に任用する。

Ⅲ 選考区分・特色ある募集及び対象者

1 一般選考（小学部・中学部）

前掲Ⅱの受験資格1から4のすべてを満たす者

2 特別選考（以下(1)から(4)の募集人員は、採用見込数に含む。）

(1) 教職経験者を対象とした選考（小学部・中学部）

前掲Ⅱの受験資格1から4のすべてを満たし、かつ、以下のアからエのいずれかに該当する者で、「教職経験者を対象とした選考」を希望する者

| | |
|---|--|
| ア | 静岡県内外の国公立学校で*教諭として、実務経験をもち（在職中の者も含む）、令和8年3月31日まで（令和8年3月31日に在職見込であること）連続3年以上の**実務経験をもつことが見込まれる者（育児休業取得者は休業期間を加算してよい）（校種は問わない） |
| イ | 静岡県内の国公立学校で***臨時的任用職員又は任期付職員として令和7年度に教員としての勤務実績を有し、かつ直近の過去5年度（令和3年4月1日から令和8年3月31日まで）で通算36か月以上勤務した者又は勤務することが見込まれる者 |
| ウ | 静岡県内外の国公立学校で*教諭として、令和8年3月31日までに2年以上の**実務経験をもつ者又はもつことが見込まれる者（育児休業取得者は休業期間を加算してよい） |
| エ | 静岡県内の国公立学校で***臨時的任用職員又は任期付職員として令和7年度教員としての勤務実績を有し、かつ直近の過去3年度（令和5年4月1日から令和8年3月31日まで）で通算24か月以上勤務した者又は勤務することが見込まれる者 |

* 「教諭」とは、採用試験に合格した定年制の職のみで、臨時的任用職員及び任期付職員としての職の場合は該当しない。

** 「実務経験」とは、令和8年3月31日までに実際に勤務した期間をさす。休業、休職期間は含まない。ただし、育児休業取得者は育児休業期間を加算してよい。

*** 臨時的任用職員には、県内の政令市教育委員会、市町教育委員会が任命した職で、県教育委員会が同等と認めた職を含む。（非常勤講師は対象としない）

(2) カムバック選考

ア 過去に、静岡県の*教諭として勤務した者

イ 志願時に静岡県の教諭として在職していない者

ウ 静岡県の教諭として6年以上の**実務経験を有する者

エ 勤務時と同一校種・教科のみ志願可能とする。

* 「教諭」とは、採用試験に合格した定年制の職のみで、臨時的任用職員及び任期付職員としての職の場合は該当しない。

** 「実務経験」とは、令和8年3月31日までに実際に勤務した期間をさす。休業、休職期間は含まない。ただし、育児休業取得者は育児休業期間を加算してよい。

(3) 障害者特別選考（小学部・中学部）

前掲Ⅱの受験資格1から4のすべてを満たし、かつ、以下に掲げる手帳等の交付を受けている者（下記の手帳等は、受験申込日及び受験日当日において有効であることが必要）で「障害者特別選考」を希望する者

- ア 身体障害者手帳又は身体障害者福祉法第15条に基づき、都道府県知事の定める医師（以下「指定医」という。）若しくは産業医による障害者の雇用の促進等に関する法律別表に掲げる身体障害を有する旨の診断書・意見書（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう若しくは直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫又は肝臓の機能の障害については、指定医によるものに限る。）
- イ 都道府県知事若しくは政令指定都市市長が交付する療育手帳又は児童相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター、精神保健指定医若しくは障害者職業センターによる知的障害者であることの判定書
- ウ 精神障害者保健福祉手帳

(4) 多文化共生を推進する教員選考

前掲Ⅱの受験資格1から4のすべてを満たし、かつ、以下のアからウのいずれかの要件に該当する者で、多文化共生に関する経験を有する者を対象とした選考を希望する者

ア 国際貢献活動経験者

独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊・日系社会青年ボランティアで継続した2年間の任期を満了した実績を有する者

※新型コロナウイルス感染症の影響により、2年間の任期が短縮された場合に限り、本来の派遣期間と短縮された期間の両方が記載された実績証明書の提出により対象となる場合がある。

イ 海外教育機関経験者

令和3年4月1日から令和8年3月31日までに、在外教育施設(日本人学校・補習授業校)や、その他海外の学校等で通算して2年(24か月)以上の勤務実績を有する者

ウ 日本語指導経験者

以下に示す(ア)から(オ)のいずれかを満たし、かつ、令和8年3月31日までに、国内の国公立学校で臨時的任用職員又は任期付職員として通算して1年(12か月)以上の勤務実績を有する者

(ア) 令和8年3月31日までに、大学(短期大学を除く)又は大学院において日本語教育に関する教育課程を履修して所定の単位を修得していること

(イ) 令和8年3月31日までに、大学(短期大学を除く)又は大学院において日本語教育に関する科目の単位を26単位以上修得していること

(ウ) 令和8年3月31日までに、公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格していること

(エ) 令和8年3月31日までに学士の学位を有し、かつ、日本語教育に関する研修であって適当と認められるもの*を420時間以上受講し修了していること

*「登録日本語教員の資格取得に係る経過措置における日本語教員養成課程等の確認(令和7年10月31日現在)/文化庁ホームページ」に掲載されている申請機関が対象となる期間に実施した研修を対象とする。

(オ) 令和8年3月31日までに、文部科学省が実施する日本語教員試験(基礎及び応用)に合格していること(「登録日本語教員」への登録は任意)

(5) 社会人経験者を対象とした選考

前掲Ⅱの受験資格1から4のすべてを満たし、かつ、民間企業又は官公庁等において正規採用され、令和8年3月31日までに、通算して3年(36か月)以上の勤務経験がある者。

(6) 専門職経験を有する者を対象とした選考(自立活動)

前掲Ⅱの受験資格1から4のすべてを満たし、かつ、特別支援学校における業務に意欲を持って取り組むことができ、「専門職経験を有する者を対象とした選考」を希望する者

※ 各資格に基づく勤務経験は、実際に勤務した期間のことであり、休業、休職期間は含まない。

また、看護師の勤務経験は、重症心身障害児の臨床経験(一般的な小児病棟は不可)とする。

※ 特別支援学校自立活動教諭普通免許状を有しない場合でも受験できる。ただし、第2次選考試験合格後、教育職員検定に合格し、静岡県教育委員会が発行する特別免許状を取得することが必要となるので、第2次選考試験合格後、採用内定とならない場合もある。

(7) 大学推薦

前掲Ⅱの受験資格1から4のすべてを満たし、特別支援学校教諭一種(専修)免許状及び、小学校教諭一種(専修)免許状もしくは中学校教諭一種(専修)免許状を所有する者又は令和9年

3月31日までに取得見込みの者。詳細は、別添「大学推薦特別選考実施要項」を確認すること。

(8) 寄宿舍指導員の経験を有する者を対象とした選考

前掲Ⅱの受験資格1から4のすべてを満たし、かつ、静岡県内の寄宿舍指導員（臨時的任用職員及び任期付職員を含む）として、令和8年3月31日までに、通算して3年(36か月)以上の勤務経験がある者

(9) 障害者福祉サービス事業所等での勤務経験を有する者を対象とした選考

前掲Ⅱの受験資格1から4のすべてを満たし、かつ、静岡県内外の児童発達支援施設、放課後等デイサービス事業所、障害者福祉サービス事業所の正規職員として、令和8年3月31日までに、通算して3年(36か月)以上の勤務経験がある者

3 しずおか未来創造枠（自己推薦枠）（小学部）

「しずおか未来創造枠（自己推薦枠）」について

選考は、まず「しずおか未来創造枠」を志願した者の中から合格者を決定する。次に「しずおか未来創造枠」による合格者を除いたすべての志願者を対象として全体の合格者を決定する。

(1) 申請要件

前掲Ⅱの受験資格1から4のすべてを満たし、かつ、次の要件をすべて満たす者

ア 静岡県の未来を担う児童生徒等の育成に対する熱意とビジョンをもつ者

イ 静岡県公立学校教員となることを第1志望とする者

ウ 令和9年4月1日付けで静岡県公立学校に勤務することができる者

※ 「大学院修士課程の特例」を希望する場合、「しずおか未来創造枠」への出願は不可。

(2) 志願時の手続

電子申請時に、「しずおか未来創造枠」欄の「希望する」を選択する。併せて、「自己推薦用紙」をダウンロードし、印刷して記入の上、令和8年3月10日（火）までに郵送にて提出する。（3月10日消印まで有効）（A4判用紙1枚（片面のみ）に収めること。）

4 特色ある募集【大学院修士課程の特例】

「大学院修士課程の特例」とは

受験時に、すでに受験する校種・教科の教員免許状を取得している大学院修士課程に在籍している者や、受験する校種・教科の教員免許状を取得見込みで大学院修士課程への進学を希望する者が、第2次選考試験に合格した場合、採用候補者としての名簿登載期間を変更することができる。（変更のためには申請と許可が必要となる。）

大学院は、教職大学院、一般大学院を問わない。この特例により、合格後も修士課程修了まで安心して修学に専念できる。

(1) 大学院修士課程に在籍する者（教職大学院、一般の大学院を問わない）

ア 受験時の資格

前掲Ⅱの受験資格に示した教員種別に応じた「必要とする免許状」を令和8年4月1日までに取得見込であり、令和8年4月から大学院修士課程へ進学予定である者（長期履修学生制度で修業年限が3年の場合は2年生（受験時）、修業年限が4年の場合は、2年生又は3年生（いずれも受験時）として在籍する者も含む。ただし、現に在学している者で、原則、修業年限を上限とする。）

イ 志願時の手続

電子申請で「大学院在籍者の特例」欄の「希望する」を選択し、修了予定年月（必要最低限の期間）を入力する。併せて、「大学院修士課程の特例申請書」をダウンロードし、印刷して記入の上、令和8年3月10日（火）までに郵送にて提出する。（3月10日消印まで有効）

ウ 合格後の手続き等

第2次選考試験合格後、合格通知書に同封の「名簿登載期間の変更願（原則、修業年限を上限とする）」を作成する。併せて、大学院の「在学証明書」及び「教員免許状(写)」を提出（郵送）する。県教育委員会が変更を認めた場合、「名簿登載期間の変更許可書」を該当者に送付する。名簿登載期間の変更を許可された者は、大学院の修学に専念する。この特例により出願した者が、修了予定年月までに修士課程を修了しない場合は、採用選考試験については合格であ

っても名簿登載を取り消す。

(2) 大学院修士課程に進学を予定する者（教職大学院、一般の大学院を問わない）

ア 受験時の資格

前掲Ⅱの受験資格に示した教員種別に応じた「必要とする免許状」を令和9年4月1日までに取得見込であり、大学院修士課程へ進学予定である者

イ 志願時の手続

電子申請で「大学院進学予定者の特例」欄の「希望する」を選択し、進学予定の大学院名及び修士課程期間（必要最低限の期間）を入力する。併せて、「大学院修士課程の特例申請書」をダウンロードし、印刷して記入の上、令和8年3月10日（火）までに郵送にて提出する。（3月10日消印まで有効）

ウ 合格の手続等

第2次選考試験合格後、合格通知書に同封の「名簿登載期間の変更願（原則、修業年限を上限とする）」を作成する。併せて、大学院の「合格通知（写）」及び「教員免許状取得見込証明書」を提出（郵送）する。県教育委員会が変更を認めた場合、「名簿登載期間の変更許可書」を該当者に送付する。名簿登載期間の変更が許可された者は、大学院の修学に専念する。この特例により出願した者が、「必要とする免許状」を令和9年4月1日までに取得できなかった場合、大学院試験に合格しなかった場合及び、修了予定年月までに修士課程を修了しない場合は、採用選考試験については合格であっても名簿登載を取り消す。

Ⅳ 教科専門試験の加点制度

以下の表に示す免許状、資格等を有する者又は、令和9年4月1日までに取得見込みの者で、希望する者に対して、第1次選考試験の得点に加点を行う。

※ 当該免許状等を取得できなかった場合は、採用候補者であっても採用を取り消す場合がある。

※ 申請記号qとjについては、いずれか一つの申請が可能（qとjの2つの申請は不可）。

1 教科専門試験の加点制度申請条件一覧表

| 記号 | 加点申請の条件 *印は取得済みであること | 加点点数 |
|----|--|------|
| i | 複数の障害種の特別支援学校教諭普通免許状取得（取得見込み） ※「視覚」と「知肢病」又は、「聴覚」と「知肢病」の組合せ | 10 |
| q | 「特別支援学校教諭普通免許状」、「小学校教諭普通免許状」、「中学校教諭普通免許状」及び「高等学校教諭普通免許状」の4つの免許状の取得（取得見込み） ※特別支援教育領域は問わない。 ※中学校教諭普通免許状の教科は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語のいずれかとする。 ※高等学校教諭普通免許状の教科は、国語、社会（地理歴史、公民）、数学、理科、保健体育、芸術（音楽、美術）、外国語（英語）、家庭、情報のいずれかとする。 | 8 |
| j | 「特別支援学校教諭普通免許状」、「小学校教諭普通免許状」及び「中学校教諭普通免許状」の3つの免許状の取得（取得見込み） ※特別支援教育領域は問わない。 ※中学校教諭普通免許状の教科は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語のいずれかとする。 | 5 |
| k | 複数教科の中学校教諭普通免許状取得（取得見込み） ※中学校教諭普通免許状の教科は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語とする。 | 5 |
| r | 「幼稚園教諭普通免許状」及び「小学校教諭普通免許状」の2つの免許状の取得（取得見込み） | 3 |
| m | ポルトガル語又はスペイン語に関する資格等の所有（*）【別表1】 | 5 |
| n | 司書教諭の資格取得（*） | 3 |
| s | 「理学療法士」又は「作業療法士」又は「言語聴覚士」の資格取得（*） ※専門職経験を有する者を対象とした選考（自立活動）を除く。 | 各5 |
| u | 「公認心理師」又は「臨床心理士」の資格取得（*） | 5 |

| | | |
|---|---|----|
| v | 日本語指導資格等の所有【別表2】（**） | 5 |
| w | 養護教諭の免許状の取得（*） | 5 |
| x | 「視能訓練士」又は「手話通訳士」又は「介護福祉士」又は「社会福祉士」又は「精神保健福祉士」の資格取得（*） | 各5 |
| y | 静岡県内の県立特別支援学校でのボランティア経験者 ※静岡県内の県立特別支援学校からボランティア活動実績証明書を受けた者 （ボランティア活動実績の日数は5日以上とする） | 2 |

【別表1】ポルトガル語又は、スペイン語に関する資格等

| 資格等 | 加点申請の条件 |
|-----------------------------|------------|
| 外国語としてのポルトガル語検定（CAPLE） | A 2（準初級）以上 |
| 外国人のためのポルトガル語検定（Celpe-Bras） | 中級以上 |
| スペイン語技能検定（西検） | 3級（上級）以上 |
| 外国語としてのスペイン語検定（DELE） | B 1（中級）以上 |

【別表2】日本語指導資格等

| | 資格・加点申請の条件等 |
|---|--|
| ア | 大学（短期大学を除く。）又は大学院において日本語教育に関する教育課程を履修して所定の単位を修得（または修得見込） |
| イ | 大学（短期大学を除く。）又は大学院において日本語教育に関する科目の単位を26単位以上修得（または修得見込） |
| ウ | 公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格 |
| エ | 学士の学位を有し、かつ、日本語教育に関する研修であって適当と認められるものを420単位時間以上受講し修了 |
| オ | 令和8年3月31日までに、文部科学省が実施する日本語教員試験（基礎及び応用）に合格 |

※「登録日本語教員の資格取得に係る経過措置における日本語教員養成課程等の確認（令和7年10月31日現在）/文化庁ホームページ」に掲載されている申請機関が対象となる期間に実施した研修を対象とする。

2 教科専門試験の加点制度申請に関する留意事項（加点を希望する者のみ対象）

| | |
|---|---|
| i | 複数の障害種の特別支援学校教諭免許状の写しを提出する。障害種の組合せは、「視覚と知肢病」又は、「聴覚と知肢病」とする。当該免許状を取得見込みの者は、取得見込証明書を提出する。 |
| q | 特別支援学校教諭普通免許状の写し、小学校教諭普通免許状の写し、中学校教諭普通免許状の写し及び高等学校教諭普通免許状の写しの4つを提出する。当該免許状を取得見込みの者は、取得見込証明書を提出する。 |
| j | 特別支援学校教諭普通免許状の写し、小学校教諭普通免許状の写し及び中学校教諭普通免許状の写し3つを提出する。当該免許状を取得見込みの者は、取得見込証明書を提出する。 |
| k | 複数教科の中学校教諭普通免許状の写しを提出する。当該免許状を取得見込みの者は、取得見込証明書を提出する。 |
| r | 幼稚園教諭普通免許状の写し及び小学校教諭普通免許状の写しの2つを提出する。当該免許状を取得見込みの者は、取得見込証明書を提出する。 |
| m | 資格等を証明する書類（主催団体が発行する公式認定書又は合格証明書）の写しを提出する。 |
| n | 文部省又は、文部科学省発行の修了証書の写しを提出する。 |
| s | 言語聴覚士免許証の写し、又は理学療法士免許証の写し、又は作業療法士免許証の写しを提出する。 |
| u | 公認心理師登録証の写し、又は臨床心理士資格認定証の写しを提出する。 |
| v | 大学又は大学院が発行する履修証明書等の写し（または、見込みであることが確認できる証明書等）、日本語教育能力検定試験の合格証明書の写し、研修の実施機関が発行した受講証明書の写し、文部科学省が発行した日本語教員試験合格証書の写しのいずれかを提出する。 |
| w | 養護教諭普通免許状の写しを提出する。 |
| x | 視能訓練士免許証の写し、又は手話通訳士カードの写し、又は介護福祉士登録証の写し、又は社会福祉士登録証の写し、又は精神保健福祉士登録証の写しを提出する。 |
| y | 静岡県内の県立特別支援学校が証明した「ボランティア活動実績証明書」を提出する。 |

V 出願手続

1 出願方法

受験の申請（原則、電子申請による。）及び関係書類の提出により出願を行う。電子申請のみでは出願の受付ができないため、注意する。

電子申請について

(1) 準備するもの

- ・インターネット環境のあるパソコン又は、一部のスマートフォン
推奨環境（OSやブラウザ）については、電子申請サービスホームページの「ヘルプ」→「操作マニュアル」→「FAQ」を確認する。
- ・本人のメールアドレス
登録したメールアドレスが利用者IDとなる。受験が全て終わるまで変更しないことを推奨するが、メールアドレスを変更しなければならない場合には、電子申請システム上で必ず変更手続きを行う。
- ・受験票等を印刷するためのプリンター（A4判が印刷できるものなら可）
スマートフォンからの印刷はサポート不可のため、必ずパソコンから印刷する。

(2) 電子申請の流れ

| | |
|-------------------|---|
| ①インターネット にアクセス | 静岡県教育委員会の公式ホームページ（教職員の採用情報）から、「ふじのくに電子申請サービス」にアクセスする。 https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/ |
| ②利用者登録 | はじめに「利用者登録」をして「利用者ID」を取得する。 ※利用者登録は、申請期間前でも行うことができる。 ※登録時に取得したIDとパスワードは申請時に必要となるため、必ず、記録（メモ）しておく。紛失しても、利用者IDやパスワードの問合せには、一切対応できない。 ※利用者登録だけでは、受験申込にはならないため注意する。 |
| ③受験申請 | ・申請期間中に、手続き名「令和9年度静岡県公立学校教員採用選考試験申込」の申請入力画面に必要な事項を入力して送信する。 ・送信後、画面に「整理番号」「パスワード」が表示される。受験票のダウンロード等、その後の手続きで必要となるため、記録（メモ）をしておく。 ・申請確認の通知メールが登録したメールアドレス宛てに送信される。 ※申請画面は180分経過するとタイムアウトになり、入力したものが消えてしまうため、こまめに一時保存をする。 ※申請確認通知のメールは、申請を受理したということではない。申請内容に不備がある場合や郵送により提出する書類が提出されない場合は、受理されないことがあるため、慎重に手続きを行う。 ※申請内容に不備がある場合は、利用者登録した際のメールに連絡する。静岡県教育委員会からの連絡に、指定した期日までに応答がない場合は、申請を受理しない。（受験ができなくなる。） ※整理番号とパスワードの両方を忘れた場合は、申請期間内であれば、新規のユーザーとして改めて、申請手続きを行う。 |
| ④申請内容の確認 | ・「ふじのくに電子申請サービス」の「申込内容照会」のメニューから申請内容及び審査状況が確認できる。 ・修正が必要な場合は、申込期間内であれば修正することができる。 |
| ⑤受験票の ダウンロード | 令和8年4月15日（水）以降に、受験票の発行をメールにて通知するため、「申込内容照会」の画面から受験票及び関係書類（PDF）をダウンロードする。 ※プリントアウトした受験票には、必ず署名欄に自署で署名するとともに、写真を貼り1次選考試験当日に持参する。添付文書を参照する。 |

(3) 留意事項

- ア 登録したメールアドレスへのメールは、申請内容の確認、問合せや受験票の発行の連絡に使用するため、こまめに確認する。
- イ システム操作に関することは、「お問い合わせヘルプデスク」に問い合わせる。担当課では受け付けできない。（連絡先は、電子申請HPで確認する。）

2 出願期間及び関係書類の提出期間

(1) 電子申請

令和8年1月14日(水)の午前8時から3月3日(火)の午後5時までに申請を完了する。

※ 申請に時間がかかる場合が予想されるので、早めに申請を済ませる。

(2) 令和9年度静岡県教員採用選考試験面接用シート（作成方法はP. 10 参照）

令和8年1月14日(水)から3月10日(火)までに特別支援教育課（送付先住所はP. 11）に郵送する。（3月10日消印まで有効）

(3) 【該当者のみ】必要書類及び証明書

（特別選考、しずおか未来創造枠、大学院修士課程の特例、加点制度等）

令和8年1月14日(水)から3月10日(火)までに特別支援教育課（送付先住所はP. 11）に郵送する。（3月10日消印まで有効）

※ 教科専門試験の加点制度において、当該免許状の取得見込証明書が令和8年4月以降の証明発行となる場合は、令和8年5月1日（金）までに郵送する。

※ 受験に係る書類は信書に該当するため、総務大臣の許可を受けた信書便事業者による送達のみ認める。（メール便は利用できない。また、持参による受付も行わない。）

3 提出書類等

※ **全ての提出書類はA4判とする。**ホームページ（以下「HP」）からダウンロードして印刷する際は、A4判用紙を使用する。（一般的なコピー用紙程度の厚さのものを使用する。）

※ 書類に不備がある場合は受付けない。また、提出書類は返却しない。

| 対象者 | 提出書類 | 留意事項 | 提出期日 |
|------------------------|----------------------------|--|---------------------------|
| 全員 | 令和9年度静岡県教員採用選考試験 面接用シート | 正本1部を提出する。 ※ 第2次選考試験で必要。第1次選考試験の可否に関わらず、返却はしない。 ※ 作成方法は、要項P. 10「面接用シートについて」参照 | 3月10日(火) 消印有効 ※郵送する |
| しずおか未来創造枠 | 自己推薦用紙 | HPからダウンロードし、作成したものを1部提出する。 | |
| 教職経験者を対象とした選考（ア・イ・ウ・エ） | 教職経験者を対象とした選考申請書（勤務歴証明） | HPからダウンロードし、印刷をして、HPの記入例に従って記入し、最終勤務校または現在勤務校の証明を得る。 ※必ず証明日を記入すること。 | |
| 障害者を対象とした選考 | 障害に関する証明書 要項P. 11〔例1〕参照 | 障害者手帳等に基づいて記入し、その写しを添付する。 | |
| 多文化共生を推進する教員を対象とした選考 | | | |
| 国際貢献活動経験者 | 派遣実績証明書 要項P. 11〔例2〕参照 | 青年海外協力隊事務局長等による実績証明書を提出する。 ※ <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、任期が短縮された場合は、本来の派遣期間と短縮された期間が記載された実績証明書とする。</u> | |
| 海外教育機関経験者 | 勤務経験証明書 要項P. 11〔例3〕参照 | 当該機関の所属長による勤務経験証明書を提出する。 | |

| | | | |
|----------------------------------|--|---|---------------------------|
| 日本語指導 経験者 | ①勤務経験証明書 要項P. 11〔例3〕参照 ②日本語指導資格等の証明 要項P. 6 加点制度申請に関する留意事項参照 | ①最終勤務先または現在勤務先の所属長による勤務経験証明書を提出する。 ②加点申請と同様の証明書等を提出する。 | |
| 社会人経験者を対象とした選考 | 勤務経験証明書 要項P. 11〔例3〕参照 | 当該企業等の所属長による勤務経験証明書を提出する。（3年以上の期間の証明に必要な数を作成する。） | |
| 専門職経験を有する者を対象とした選考 | ①勤務経験証明書 P. 11〔例3〕参照 ②資格に関する証明書 | ①勤務期間による勤務経験証明書（受験資格を満たし、受験対象者となることが分かるもの）を提出する。 ②各資格の免許証の写しを提出する。 | |
| 大学推薦 | ①大学推薦特別選考推薦書 ②大学推薦特別選考推薦者名簿 ③推薦する者の成績証明書 | 大学推薦は、①～③の書類を揃え、大学が提出する。 別添、大学推薦特別選考実施要項参照 | |
| 寄宿舎指導員の経験を有する者を対象とした選考 | 勤務経験証明書 要項P. 11〔例3〕参照 | 当該勤務先の所属長による勤務経験証明書を提出する。 | |
| 障害者福祉サービス事業所等での勤務経験を有する者を対象とした選考 | 勤務経験証明書 要項P. 11〔例3〕参照 | 当該勤務先の所属長による勤務経験証明書を提出する。 | |
| 大学院修士課程の特例 | 大学院修士課程の特例申請書 | HPからダウンロードし、作成したものを提出する。 | |
| 教科専門試験の加点 | 加点に関する証明書類 【該当者のみ提出】 | 要項P. 5「Ⅳ 教科専門試験の加点制度」を参照する。 | 4月28日（火） 消印有効 ※郵送する |

※ カムバック選考については、電子申請にて所属校等の情報を確実に入力する。

・作成方法

・作成上の注意点

しずおか未来創造枠
出願の有・無を○で囲む。

受験番号 記入不要

選考区分

1・2・3・4・5・6・8・9・10・11 のいずれかに○をつける。

住所・現在の職業

■令和8年4月30日現在で記入する。
■住所は、市町名以降は省略

教員歴・講師経験・他職種従事

- 令和8年4月30日現在で記入する。
- 臨時的任用職員・任期付職員経験は、非常勤講師を含まない。
- 他職種とは、教職以外の職種

部活動・ボランティア活動等の実績

- 所属名、ポジション、役割等を記入する。
- 最も大きな大会(県、国を明確に)等での実績や出場記録、個人記録等を記入する。
- 部活動・ボランティア活動等の経験を生かして、教員として取り組みたいことを、「③」の欄に文章で記入する。

志願理由

静岡県を志願した理由と教員を志願した理由を、自己アピールを含めて記入する。

令和9年度 静岡県教員採用選考試験 面接用シート

○ 各校種試験室の指示に従って、黒色のペン又はボールペンを用いて自筆する（印刷文字は不可）。

| | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-----|---|--------|------------|-------|------------------------|---------------|--|
| 選考区分等 ※該当する選考に○ | 1 一般選考 2 教職経験者選考 3 カムバック選考 4 障害者選考 5 多文化共生選考 6 社会人経験者選考 7 スペシャル選考(高) 8 専門職選考(特) 9 大学推薦(高・特) 10 福祉関連選考(特) 11 看護会館選考(特) 12 民間企業等経験者選考(中) | | | | | | | しずおか 未来創造校 | 受験番号 |
| | | | | | | | | 有・無 | |
| 教員種別 教科・科目 | 教員種別 (○で囲む) | | | | | | 教科・科目 | | 写真貼付欄 写真裏面に氏名・受験校種・ 教科・科目を記入する。 顔写真貼付 (縦45mm×横35mm) 3か月以内に撮影した無損 のカラー写真を確実に貼付 ける。 |
| | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 | 小・中共通 | 小・特共通 | 中・特共通 | 養護教員 栄養教員 | |
| ふりがな | | | | | | | 年 齢 | | 3か月以内に撮影した無損 のカラー写真を確実に貼付 ける。 |
| 氏 名 | | | | | | | 令和9年4月1日現在 歳 | | |
| 住所欄上の正しい文字 で記入する。 | | | 在住都道府県市町村名 | | | 現在の職業 | | | |
| 正規教員歴の有無 (※私学は含まない) | 有・無 年 月 | | 臨時・任用職員・任用 付職員経験の有無 (※非正規職員は含まない) | | 有・無 年 月 | | 他職種従事の有無 | | 有・無 |
| 部活動、ボランティア 活動等の活動実績 | 中学校 | | | | 大学 | | | | 写真の貼り忘れに 注意！ |
| | 高等学校 | | | | 卒業後 | | | | |
| 大学の研究事項 | | | | | | | 資格・外国語能力 (日本語教員を含む) | | |
| 趣味・特技 | | | | | | | | | |

① 静岡県の教員を志望する理由について、志望する校種・教科・科目を踏まえて書いてください。

資格・外国語能力

英語検定、臨床心理士、看護師、情報技術者、柔道・剣道の段位、防災士、静岡県中・上級青少年指導者など、教育活動に役立つ資格を記入する。

外国語能力については、児童・生徒や保護者と日常的な会話ができ、意思疎通が可能なレベルの外国語能力及び、外国人に系統的な日本語指導を行えるように、日本語教員養成課程を履修している場合記入する。

② あなたが理想とする「教師像」を書いてください。

③ これまでの経験、実績、得意分野等を活かして、教員として取り組みたいことを書いてください。

※パソコン入力する場合、枠の大きさ及び、①～③のフォントの種類・大きさ（12ポイント）を変更しないように注意すること。

ダウンロードしてワープロ入力する場合

- ・枠の大きさ及び、①～③のフォントの種類・大きさ(12ポイント)を変更しないように注意すること。
- ・①～③は、12ポイントのフォントで枠に収まる文章の量にすること。
- ・①～③以外は、必要に応じて、フォントサイズを変更してもかまわない。

【特別選考に係る提出書類の様式】

- ・「障害者を対象とした選考」「多文化共生を推進する教員選考」「社会人経験者を対象とした選考」「寄宿舎指導員の経験を有する者を対象とした選考」「障害者福祉サービス事業所等での勤務経験を有する者を対象とした選考」を希望する者
- ・以下を参照し、各自で作成する。
- ・サイズはA4判とする。
- ・勤務経験証明書は勤務機関ごとに作成し、各機関の所属長等の証明を受ける。
- ・「大学推薦」は、別添「大学推薦特別選考実施要項」を確認すること。

〔例1〕障害に関する証明書

| 障害に関する証明書 | |
|--|--|
| 氏名 | |
| 受験教員種別 | |
| 受験教科・科目 | |
| 1 障害程度等級・障害名 | |
| 2 受験に際して希望する配慮事項 | |
| ※「障害者手帳等の写し」貼付 （氏名・障害程度等級・障害名の記載された頁をコピーし、貼付する。） 裏面でもよい。 | |

〔例2〕派遣実績証明書

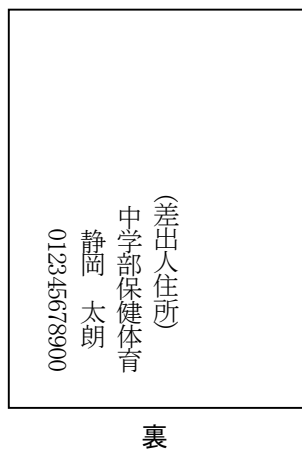
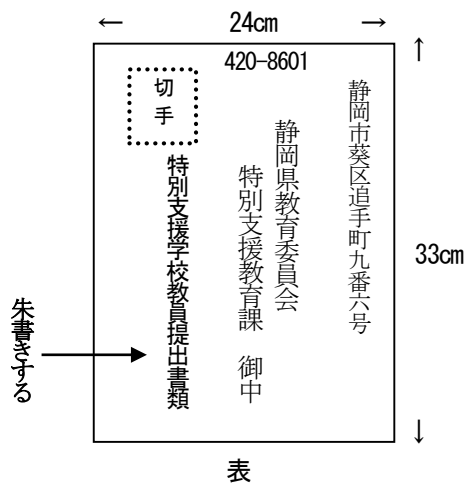
| 派遣実績証明書 | |
|---------------------------------|---|
| 氏名 | |
| 受験教員種別 | |
| 受験教科・科目 | |
| 1 派遣国・派遣期間 | |
| 2 職務内容 | |
| 3 その他 | |
| 上記のとおり、継続した2年間の任期を満了したことを証明します。 | |
| 令和〇年〇月〇日 | |
| 青年海外協力隊事務局長等 氏名 | 印 |

〔例3〕勤務経験証明書

| 勤務経験証明書 | |
|-----------------------|------|
| 氏名 | |
| 受験教員種別 | |
| 受験教科・科目 | |
| 1 勤務先名称・職名 | |
| 2 在籍期間 | |
| 3 職務内容 | |
| 4 週あたりの勤務時間 | |
| 5 休職・休業期間 | |
| 上記のとおり、証明します。 | |
| 令和〇年〇月〇日 | |
| 職名 | 氏名 印 |
| *勤務先の所属長等の証明・押印（私印不可） | |

【面接シート・証明書類等の提出用封筒について】

- ・「角2号」封筒を使用する。



※裏面に「差出人住所」「受験する学部・教科等」「氏名」「整理番号（電子申請時に表示された12桁の数字）」を記入

4 送付先（問合せ先）等

〒420-8601 静岡県葵区追手町9-6
 静岡県教育委員会 特別支援教育課
 054-221-3150

5 受験票の送付

令和8年4月15日(水)以降に、受験票の発行をメールにて通知するため、「申込内容照会」の画面から受験票及び関係書類をダウンロードする。プリントアウトした受験票には、必ず署名欄に自署で署名するとともに、写真を貼り1次選考試験当日に持参する。

令和8年4月17日(金)を過ぎてもメールが届かない場合は、上記「4 送付先（問合せ先）等」に連絡する。

VI 選考試験の実施方法

1 第1次選考試験の概要

| 選考区分等 | | | 試験項目 | | | | | |
|---------|-----------------------|---|-------------|------|-----------|--------------|------|------------------------------------|
| | | | 教職・ 一般教養 | 課題作文 | 教科等 専門 | 特別支援 教育専門 | 面接試験 | しずおか 未来創造枠 |
| 一 般 選 考 | | | ○ | なし | ○ | ○ | ○ | 自己推薦用紙を提出の上、選考区分等に応じて左記の試験項目を受験する。 |
| 特別選考 | 教職経験者を対象とした選考 | ア | なし | なし | なし | なし | ○ | |
| | | イ | なし | なし | ○ | ○ | ○ | |
| | | ウ | なし | ○※1 | ○ | ○ | ○ | |
| | | エ | | | | | | |
| | カムバック選考 | | なし | なし | なし | なし | なし | |
| | 障害者特別選考 | | なし | ○※2 | ○ | ○ | ○ | |
| | 多文化共生を推進する教員選考 | | なし | ○※1 | ○ | ○ | ○ | |
| | 社会人経験者を対象とした選考 | | なし | ○※1 | ○ | ○ | ○ | |
| | 大学推薦者を対象とした選考 | | なし | なし | なし | なし | ○ | |
| | 寄宿舍指導員を対象とした選考 | | なし | ○※1 | ○ | ○ | ○ | |
| | 障害者福祉サービス事業所等を対象とした選考 | | なし | ○※1 | ○ | ○ | ○ | |
| | 専門職経験を有する者を対象とした選考 | | ○ | ○※1 | なし | なし | ○ | |

※1 「教職経験者を対象とした選考ウ、エ」における「課題作文」は教育実践に基づくテーマとする。

「多文化共生を推進する教員選考」における「課題作文」は、多文化共生に関連した内容に基づくテーマとする。

「社会人経験者を対象とした選考」「寄宿舍指導員の経験を有する者を対象とした選考」「障害者福祉サービス事業所等での勤務経験を有する者を対象とした選考」における「課題作文」は、これまでの経験等に関連した内容に基づくテーマとする。

「専門職経験を有する者を対象とした選考」における「課題作文」は、専門職としての経験に基づくテーマとする。

※2 「障害者特別選考」における「課題作文」は、これまでの経験に基づくテーマとする。試験実施に際しては、受験者の障害の程度に応じて受験上の配慮をする。具体的な選考の実施方法や受験上の配慮事項は提出された書類の内容を踏まえて検討し、志願者本人に連絡して決定する。

<第1次試験免除の対象について>

- ※ 「大学推薦」及び「教職経験者を対象とした選考ア」で受験する者は、第1次選考試験の筆記試験を免除する。第1次選考試験の面接試験は実施する。
- ※ 「カムバック選考」で受験する者は、第1次選考試験を免除する。ただし、勤務時と同一の校種・教科を受験する場合に限る。
- ※ 令和7年度採用選考試験において、補欠と判定された者は、令和9年度採用選考試験の第1次試験を免除する。ただし、同一の校種・教科を受験する場合に限る。
- ※ 令和8年度採用選考試験において、補欠と判定された者は、令和9・10年度採用選考試験の第1次試験を免除する。ただし、同一の校種・教科を受験する場合に限る。
- ※ 令和8年度採用選考試験において、第1次試験を合格した者のうち、「教職経験者を対象とした選考 ア・イ・ウ・エ」で受験する者は、令和9年度採用選考試験の第1次試験を免除する。ただし、同一の校種・教科を受験する場合に限る。
- ※ 第1次選考試験免除者であっても、電子申請により受験の申請を行う。また、「面接用シート」（「しずおか未来創造枠」志願者は「面接用シート」及び「自己推薦用紙」）を令和8年3月10日（火）までに郵送する。（3月10日消印まで有効）
- ※ 第1次試験免除の対象者は、電子申請において第1次試験免除の項目を必ず入力する。申請がない場合及び記載内容に不備がある場合は、第1次試験免除該当者であっても、第1次試験免除とならないことがあるので留意する。

| 日時 | 試験項目・配点 | | 時間 | 備 考 |
|--|-------------------------------|------------------------------|--------|--|
| 5月9日(土) 筆記試験 受付 8:30～8:50 終了 14:30(予定) ※教職経験者を対象とした選考イの者の受付時間は、受験票発行時に通知する。 | 教職・一般教養 50 点 (マークシート方式) | | 60 分 | 教職教養と一般教養 ※「教職経験者を対象とした選考ウ、エ」「障害者特別選考」「多文化共生を推進する教員選考」「社会人経験者を対象とした選考」「寄宿舍指導員を対象とした選考」「障害者福祉サービス事業所等を対象として選考」の受験者には「課題作文」を実施 |
| | 教科等専門 | 小学部教員 100 点 (マークシート方式) | 80 分 | 国語、社会、算数、理科+2教科(音楽、図工、家庭、体育、外国語活動・外国語から選択) ※三角定規、コンパスを持参 |
| | | 中学部教員 100 点 (マークシート方式) | 80 分 | P. 1 I から受験する1教科 【持ち物】 数学：三角定規、コンパス 理科：三角定規 技術：三角定規、コンパス、ものさし 美術：定規、コンパス、鉛筆 英語：英和辞典及び和英辞典の持ち込み可 ただし、電子辞典は不可 |
| | | 自立活動教員 50 点 | 80 分 | 教科等専門に代えて「課題作文」を実施 |
| | 特別支援教育専門 100 点(マークシート方式) | | 60 分 | 特別支援教育に関する基礎的内容等 |
| 日時 | 試験項目・配点 | | 時間 | 備 考 |
| 5月10日(日) 面接試験 午前の部受付 8:30 ～ 8:50 午後の部受付 12:30 ～12:50 終了 17:00(予定) ※大学推薦及び、 教職経験者を対象とした選考アの者の受付時間は、受験票発行時に通知する。 | 面接試験 5段階評価 | | 15 分程度 | 個人面接 ※前日(5月9日)又は当日受付時に、面接順番表を配布する。受付時間帯が午前と午後に分かれるので注意すること。 ※面接試験が終わり次第、終了とする。 |

※ 5月9日(土)、10日(日)に実施できなかった場合は、5月16日(土)、17日(日)に実施する。
 ※ 試験会場は下記を予定するが、詳細は受験票発行時に通知する。

| | |
|--------------|---------------|
| 静岡県立静岡農業高等学校 | 静岡市葵区古庄三丁目1-1 |
|--------------|---------------|

2 第2次選考試験の概要

試験内容については、選考区分等(一般選考、特別選考、しずおか未来創造枠、大学院修士課程の特例)による違いはない。

なお、障害者特別選考受験者については、受験者の障害の程度に応じて受験上の配慮をする。具体的な選考の実施方法や受験上の配慮事項は提出された書類の内容を踏まえて検討し、志願者本人に連絡して決定する。

| 日時 | 試験項目・配点 | 備 考 |
|--|--------------|------------------|
| 6月8日(月) ～15日(月) | 適性検査 | 各自、Web 上にて期間内に実施 |
| 6月27日(土) 受付 8:30～8:50 終了 17:00(予定) | 面接試験 10 段階評価 | 個人面接 |

| | | |
|--|------------|------|
| 6月28日(日) 受付8:30～8:50 終了17:00(予定) | 面接試験 5段階評価 | 集団面接 |
|--|------------|------|

※ 6月27日(土)、28日(日)に実施できなかった場合は、7月4日(土)、5日(日)に実施する。

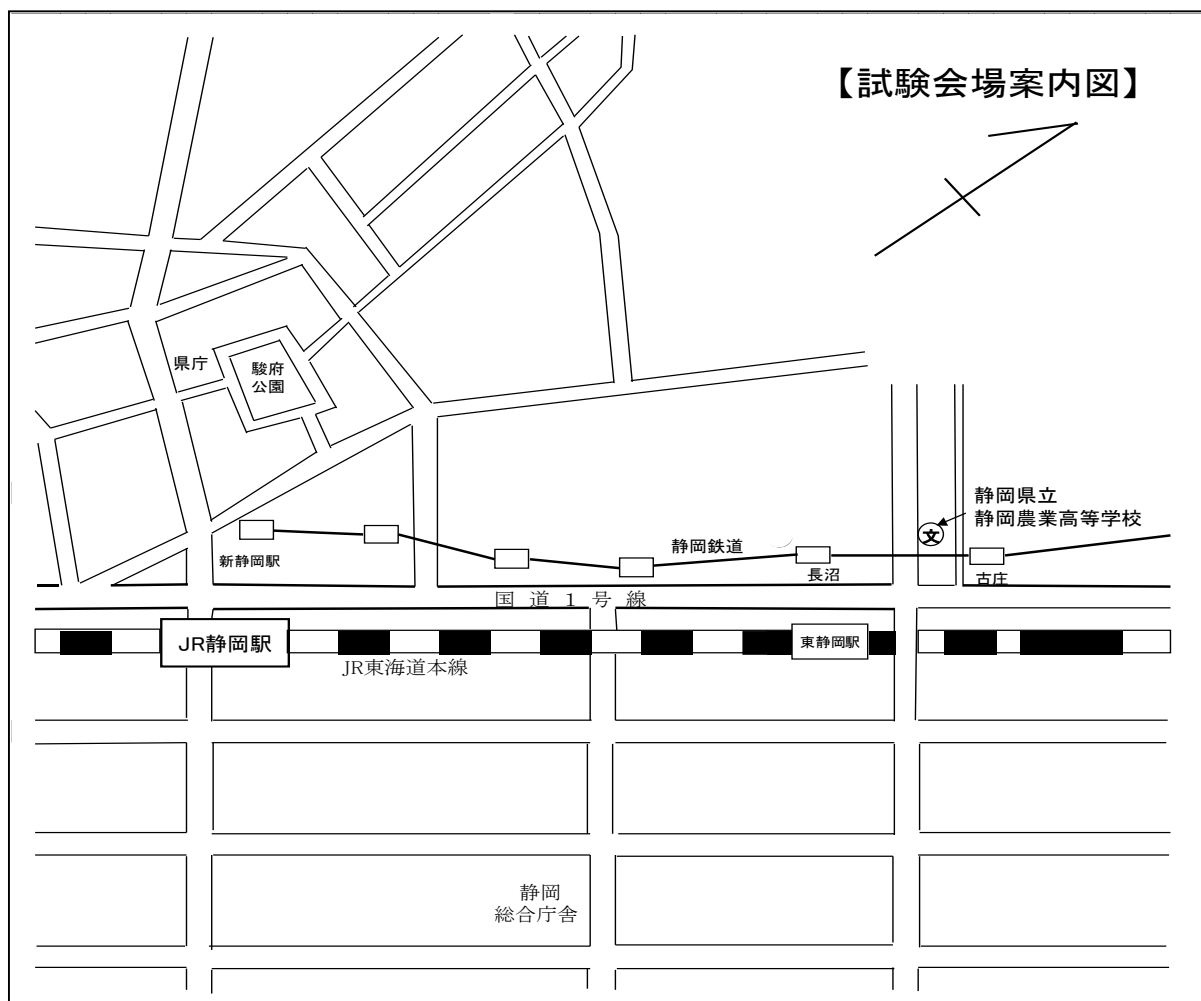
※ 試験会場は下記を予定するが、詳細は1次選考合格発表時に通知する。

| | |
|--------------|---------------|
| 静岡県立静岡農業高等学校 | 静岡市葵区古庄三丁目1-1 |
|--------------|---------------|

3 交通案内

- (1) 当日は混雑が予想されるので、時間に余裕を持って会場へ到着できるようにする。
- (2) 自家用車での来場・送迎は、禁止する。
- (3) 緊急時以外、試験会場への電話連絡は禁止する。

| | |
|--------------|---|
| 静岡県立静岡農業高等学校 | 静岡鉄道「古庄」駅下車徒歩約3分、 又は「JR 東静岡」駅下車徒歩15分 |
|--------------|---|



VII 選考および結果通知等（予定）

採用候補となった者に公務員としての信用失墜行為等と同等の行為があった場合には、採用しない。

令和8年12月25日までに施行予定の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（令和6年法律第69号。以下、「こども性暴力防止法」という。）に基づき、特定性犯罪の前科の有無を確認するための犯罪事実確認が必要となる。こども性暴力防止法に基づき、採用条件の一つとして、特定性犯罪の前科がない（特定性犯罪事実該当者でない）ことを求めることとする。このため、あらかじめ、採用選考過程において、電子申請等により、特定性犯罪の前科の有無を確認する。

免許状取得見込の者が期限までに取得できない場合や有効な免許状を所有していない場合には、採用はできない。

志願票（電子申請）や面接用シート等、出願書類の内容に重大な虚偽や秘匿等が判明した場合には、

採用候補者名簿から取り消され、採用されない場合がある。

なお、採用候補者としての名簿登載期間は、令和10年3月31日までとする。ただし、第2次選考試験合格者のうち、「**大学院修士課程の特例**」(P.4参照)を申請し、許可された者は名簿登載期間を大学院の修士課程の修了年に応じて静岡県教育委員会が認めた期間とする。

下記の日程を予定するが、詳細については各受験者に通知する。

1 第1次選考合格発表

令和8年6月8日(月)正午以降、県庁本館2階掲示板及び静岡県教育委員会のホームページへ掲載するので、各自で確認する。

2 第2次選考結果発表

令和8年8月7日(金)正午以降、県庁本館2階掲示板及び静岡県教育委員会のホームページへ掲載し、受験者へ結果を通知する。

3 採用内定者研修

採用候補者を対象に、教員としての自覚・意欲を高め、教員生活のスムーズにスタートできるように研修を行う。

4 辞令伝達式

令和9年4月1日(水)

Ⅷ 任期付職員採用選考(教員未経験者)(小学部・中学部)

1 受験資格

- (1) 前掲Ⅱの受験資格1から4のすべてを満たす者
- (2) 令和8年3月31日において、国公立学校で、定年制の教員、任期付職員又は臨時的任用職員として、通算1年以上の教員の実務経験をもたない者(会計年度任用職員(非常勤講師・支援員等)の期間は実務経験に含まない。)

2 受験手続き及び選考の方法

任期付職員を希望する場合は、電子申請時に「任期付職員選考」欄の「希望する」を選択する。任期付職員は、教員採用選考試験の結果に基づき選考する。

なお、任期付職員の希望の有無は、教員採用選考試験の可否には影響しない。

3 選考結果通知(予定)

令和8年8月7日(金)以降、受験者へ結果を通知する。

なお、別途、教員経験者を対象とした任期付職員採用選考を10月から12月に実施する予定である。

Ⅸ 過去問題の公開

過去の試験問題は、県民サービスセンター等、下表の場所にて閲覧できる。

| 公開場所の名称 | 所在地 | 電話番号 |
|----------------------|-----------------|--------------|
| 県民サービスセンター(県庁東館2階) | 静岡市葵区追手町9-6 | 054-221-2237 |
| 静岡県立中央図書館(調査課) | 静岡市駿河区谷田53-1 | 054-262-1245 |
| 静岡県総合教育センター(生涯学習推進班) | 掛川市富部456 | 0537-24-9715 |
| 下田財務事務所 | 下田市中531-1 | 0558-24-2012 |
| 熱海財務事務所 | 熱海市水口町13-15 | 0557-82-9056 |
| 沼津財務事務所 | 沼津市高島本町1-3 | 055-920-2013 |
| 富士財務事務所 | 富士市本市場441-1 | 0545-65-2112 |
| 静岡財務事務所 | 静岡市駿河区有明町2-20 | 054-286-9112 |
| 藤枝財務事務所 | 藤枝市瀬戸新屋362-1 | 054-644-9116 |
| 磐田財務事務所 | 磐田市見付3599-4 | 0538-37-2206 |
| 浜松財務事務所 | 浜松市中央区中央一丁目12-1 | 053-458-7124 |
| 西部農林事務所 天竜農林局 | 浜松市天竜区二俣町鹿島559 | 053-926-2311 |